

19世紀末連山県邑治の空間構成と住民属性に関する 復原的考察

白, 孝珍

<https://doi.org/10.15017/1866246>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

氏 名	白 孝珍			
論 文 名	19 世紀末連山県邑治の空間構成と住民属性に関する復原的考察			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	菊地 成朋
	副 査	九州大学	教授	趙 世晨
	副 査	九州大学	教授	坂元 一光

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は韓国の地方行政都市「邑治」を題材として、朝鮮時代の絵図等をもとに共通する施設群の構成規則を検討し、その上でこれまで取り上げられることの少なかった無城邑治について、朝鮮時代の土地台帳である「量案」を用いて具体的事例の復原的考察を行なったものである。その結果、対象とする連山県邑治の 19 世紀末の状況を、空間構成と居住者属性の 2 つの側面について高い精度で把握するに至っている。そして、それを現在の都市空間と重ね合わせることにより、遺構がほとんど残っていないとされる現状にも邑治の空間的記憶が読み取れることを示している。これらの成果は邑治研究に新たな知見を与えるものとして価値を有すると同時に、ここで試みられた復原作業はこれまでほとんど行われておらず、韓国都市研究の新たな手法として評価できるものであり、都市史学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。